

## 下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和2年度第4回公民館運営審議会  
日 時 令和2年10月9日(金) 午前9時30分～11時50分  
場 所 国分寺公民館 101会議室  
委 員 出席者 塩沢 建樹、石崎 勝二、石田 節男、館野 紀子、  
小林 溶子、谷萩 昌道、小貫 シゲ子、上野 文夫、  
高木 香奈子、中澤 真智子  
欠席者 倉井 典子、大越 広美、菅沼 みや子、兼丸 起子  
津野田 久江

教育委員会 教育長 池澤 勤  
生涯学習文化課長 篠崎 正代  
国分寺公民館長 齋藤 光利  
石橋公民館 永田 恵美子  
南河内公民館長 田村 利江  
南河内東公民館長 大島 浩司  
生涯学習推進グループ 課長補佐 浅香 浩幸

公開・非公開の別 ( 公 開 ・ 一部公開 ・ 非公開 )

傍 聴 人 0人

報道機関 0人

議事録(要旨) 作成年月日 令和2年10月9日

- 1 開 会 石橋公民館長 永田 恵美子
- 2 委員長あいさつ 小林 溶子
- 3 教育長あいさつ 池澤 勤
- 4 議 事
  - (1) 下野市公民館振興計画(第2次)について
  - (2) 令和2年度利用状況及び講座受講状況について
  - (3) 令和2年度事業中間報告について
  - (4) 令和2年度公民館評価指標について
  - (5) 石橋複合施設について
  - (6) その他

(1) 令和2年度下野市公民館振興計画（第2次）について

小林委員長 事務局	<p>審議事項 議事(1)「令和2年度下野市公民館振興計画（第2次）について」について、事務局からの説明を求める。</p> <p>今回の資料として事前に送付した資料1 下野市公民館振興計画（第2次）について、本日机上に差し替えを提示させていただいた。まずは皆様からいただいたご意見ご質問について説明する。</p> <p>資料1ページI 計画策定の趣旨で「法的位置づけ」とあったが、計画策定の趣旨と第一次振興計画を再確認したところ、ここでは法的位置づけということではなく、教育委員会の教育目標になるので、文中の「法的位置づけに基づき」は削除した。</p> <p>5ページVI 下野市公民館の現状として、「社会の変化や新型コロナウイルス感染症などから、今後の公民館運営の見直しや公民館講座のオンライン化に向け、インターネット環境の整備も検討すべきものとなっています」の文言の追加と、もう少しやるべきことを明確にした方がよいのではないか。</p> <p>また、振興計画に令和元年度の実績表と外部評価の是非について、掲載は必要ない。掲載するならば全評価結果の後に公民館共通の大項目に関する意見も掲載すべきではないか。</p> <p>基本理念の副題について削除してはどうか。などのご意見をいただいたが、これらについては、皆様でご審議いただき判断していただきたい。</p> <p>次に資料について順次説明する。</p> <p>I 計画策定の趣旨を述べ、II 計画の位置づけと計画期間を述べている。</p> <p>そして、公民館という社会教育施設の位置づけとして、III 公民館の法的位置づけを述べ、現状における公民館の変容をIVとした。</p> <p>この変容があり、現在の公民館活動の推進体制を持ってきた方がよいと考え、V 公民館活動推進体制とした。</p> <p>公民館の現状を以前は、表ではなく資料編としていたが、今後の公民館運営のために、公民館の現状を先に述べる必要があると判断し、VI 下野市公民館の現状として、1 利用状況及び稼働率推移、2 講座開設数及び受講者の推移では、特筆すべき実績として、地域元気プログラムが講座の一コマとして立ち上がっているため、その取り組みを掲載した。3 自主サークル数の推移については、平成19年度からの各館ごとの推移を載せた。4 市民の意見については、生涯学習推進計画を策定するにあたってのアンケート項目に、公民館に関する内容を追加したので、その結果から抽出しグラフにした。</p> <p>アンケート結果から、生涯学習活動の場所として、公民館施設はかなりの割合を示しており、生涯学習活動の情報入手先は広報も大きいですが、講座等記載されているエールが相当の割合を占めていることがわかる。</p> <p>これからの公民館への要望については、1番多いのは講座や教室の内容の充実になり、次に地域に関する内容を足すと6割くらいになり、市民は地域に関することに興味関心があることがわかる。</p> <p>これらのことから、5 公民館の役割として、公民館は地域性を再確認し、人づくり・地域づくりに貢献するという重要な役割だと再認識する意味で図を載せた。</p>
--------------	---

	<p>次にⅦ計画の基本的考え方、Ⅷ活動計画として、計画の基本的な考え方について、基本理念、基本目標、施策目標、活動計画を述べ、公民館振興計画及び評価の体系図を色分けしてわかりやすく掲載した。</p> <p>第3回の会議時に、基本目標についていろいろなご意見をいただいたが、16・17ページ学習拠点としての公民館の大部分は第一次のままで良いと判断し今回は変更していない。</p> <p>18・19ページ活動拠点としての公民館の中では、各公民館の活動団体が気軽に交流できる場の提供を自主サークル化への育成支援と統合しても良いのかとの意見に対し、統合しない方がいいと判断した。前ページ生涯学習活動提供の場として、すべての方がいつでも気軽に活動でき、人が集まる公民館として開かれた場所を提供するという文言と同じようでもあるが、こちらはすべての方が対象になるので分けて提示した。</p> <p>20・21ページ協働のまちづくりの拠点としての公民館は、国際交流等の意見があり多文化共生に対応できるような形が良いのではと結論を出していただき、施策目標に今回多文化共生による協働のまちづくりへの参画支援を追加した。</p> <p>22・23ページ地域文化創生拠点としての公民館では、市内のフリースペース的意味合いの文言を追加し、活動計画の中で職員の資質向上に関しては施設の適正な維持管理と運営に組み込んだ。</p> <p>次にⅨ公民館事業の評価と実績として、第二次振興計画を策定するにあたり、これまでどのような評価をしてきたかを振興計画の中に示すことにより、第三次の計画を作り直すときの1つの参考資料になるのではないかと、マニュアルに近い形で提示し、事業実績と評価とした。</p> <p>説明は以上となる。審議を含め皆様からのご意見をいただきたいと考える。</p>
<p>小林委員長 石田委員</p>	<p>事務局からの説明について皆様から意見を伺う。</p> <p>1ページについては新しく「法的位置づけ」がⅢにあるのでその通りでよい。</p> <p>5ページの公民館の現状については、社会の変化や新型コロナウイルス感染症などから、今後の公民館の見直しもということで、あえて新型コロナウイルス感染症と述べているので、コロナによって公民館運営をどう変えたいのか、小中学校はタブレットを配ってオンライン化授業を始めようと、どこの自治体も始めていることを考えれば、5年間の計画なので公民館講座の中にもIT化の環境整備をしていく項目を入れてはどうか。</p>
<p>小林委員長 石崎委員</p>	<p>5年間の計画なので石田委員の意見について提案された文言を加えるか皆様に伺う。</p> <p>公民館はどう考えるか。オンライン化は避けては通れない問題だと思う。タブレットは一生ものではなく、2～3年ごとに変わるし、公民館は学校のようにバックアップをするのか、家庭のバックアップはどうするのかなど何が正しいのか自分もわからないが、その辺は学校教育課と公民館とすり合わせを考えられるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>学校で配布されたタブレットを家庭に持ち帰り学習することもあり、家庭に持ち帰るということは家族にも普及し家庭の教育にもな</p>

<p>小林委員長 石田委員</p>	<p>る。そうすると生涯学習や地域にも広がりを見せ、公民館にも必要になってくると考えているので、学校だけでなく家庭そして地域へと広がりを持たせると考えられる。</p> <p>予算的にも大変なことと思う。</p> <p>今予算的という言葉があったが、国も補助体制については考えていくと思う。国の補助体制ができた時に、それを利用できるのではないか、100%達成というかあくまでも計画としてどうなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局では予算の問題もありこれを明確に書くということはできなかった。この振興計画は委員の皆様方と社会教育委員の方々と決定してくるものであり、皆様方がこのような形で計画を立てていくと結論が出れば振興計画の中に追加したいと思う。</p>
<p>石田委員</p>	<p>今後の公民館運営の見直しの中に、十分検討しながらやっていきたいということであれば、このオンライン化は追加しなくてもよい。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>ほかに意見はないか皆様に伺う。意見が無いようなら、今後このような時代になるので、あえて入れなくてもよい。具体的な表現はせず柔軟に幅広い形とする。</p>
<p>館野委員</p>	<p>次に14ページ基本理念の副題「わくわくドキドキ楽しさいっぱい公民館」の削除について皆様に伺う。</p>
<p>事務局</p>	<p>わざわざ副題を入れなくても十分表現はできている。入れてもおかしくはないが長いような気がする。</p>
<p>小林委員長 石田委員</p>	<p>まず題目については、皆様からいただいた案の中からピックアップさせていただいた「ともに学び・育み・憩い、地域の輪を広げる公民館を目指して」になるが、まずそれがいいのか、また、題目だけで十分副題も加味しているので副題は必要ない、または副題が長すぎるなど皆様にご審議をいただきたい。</p>
<p>小林委員長 石田委員</p>	<p>題目と副題目について皆様に伺う。</p> <p>題目がどういう趣旨で入れられたかはわからないが、学校教育と社会教育は違い、幼児から高齢者まで幅広い年代に向けた副題はわかりやすく理解しやすいと思うので、副題はあった方がよい。</p>
<p>石崎委員 小林委員長</p>	<p>ずっと硬い文章が続くので、副題は残しておいた方がよい。</p> <p>わかりやすい文章も良く、副題は残しておくことでよいか合わせて題目も良いか皆様に伺う。</p>
<p>谷萩委員 事務局</p>	<p>題目の「 」は必要ないと思う。</p> <p>「 」は不要とする。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>次に振興計画に令和元年度の実績表と外部評価の掲載、また評価項目の掲載の是非について皆様にご審議いただきたい。</p>
<p>石田委員</p>	<p>事務局の説明の中で今回大きく変わったのは、公民館の現状で利用状況や公民館講座開設数が加わったこと、そして生涯学習推進本部で実施したアンケート結果が掲載されたことだが、その結果や地域社会の動向、住民の関心が基礎となって振興計画ができたと非常に評価すべきところと思った。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>令和元年度の評価の掲載は、振興計画の策定にあたり参考ではなく進捗や具現化を評価の中でやったことで、掲載するのであれば参考資料かと思う。</p>
<p>石田委員</p>	<p>まして5カ年の振興計画なので、令和元年度だけの評価をあえて掲載するのはどうか。やはり振興計画を策定するにあたり、この評価が参考となったということであれば、本文ではなく後ろでもよい</p>

小林委員長	かと思う。そして、公運審の委員の方々が考えてくれた大項目に関する意見も掲載した方がよいと思う。
谷萩委員	元年度の実績表と外部評価を本文と参考資料とどちらに掲載したらよいか皆様に伺う。
石田委員 事務局	本文はなるべく簡略化した形で、参考資料として載せた方がよいと思う。 事務局の趣旨はどうか。 今後の評価のやり方を示す目的で掲載したが、皆様方のご意見でこの部分を資料編に載せるとなれば、修正し社会教育委員会議に提示したいと思う。
小林委員長	27ページ最後の一文を削除し、実績と評価を参考資料とすることによいか皆様に伺う。
事務局	資料編として掲載するにあたり、外部評価結果（ABC記載）の後ろに大項目に関する全館のみの意見を載せることによいか。 全館分は4月に皆様にご審議いただき、9月議会で説明し、現状において市のホームページに評価として載せている。
石田委員	資料編のどこに載せたらよいか。 振興計画は社会教育法では委員が答申を受けて策定することになっているが、今回は、公民館運営審議会で策定することとなる。我々としては詳細に掲載した方が、公運審が策定したとわかるのでよいと思う。資料編のどこに載せるかは事務局で検討してほしい。
石崎委員 館野委員	策定経過の後ではどうか。 流れ的には資料編に入れず修正せずにこのままでいい。評価のことを述べていて、見る人にとったらわかりやすいのではないか。
事務局	図書館の基本計画では、実績が資料編に掲載されている。同じ形式にして社会教育委員会議に提案させていただくこととしたい。
小林委員長	図書館と同じ形式でよいか皆様に伺う。次に、活動計画内容の再確認について皆様に伺う。
谷萩委員 事務局	言葉の使い方として、すべての人はすべての市民ではないか。 下野市の公民館振興計画なので、基本は市に在住している方だが、公民館利用者は在勤者、在学者または市外の方もいるため、すべての方としている。
小林委員長 谷萩委員	すべての方としてよろしいか皆様に伺う。ほかに意見はないか。 ですます調を統一した方がよい。文中の本市においては「本市」を具体的に「下野市」としてはどうか。
事務局	下野市（以下「下野市」という）のように冒頭に入れるかどうか事務局で判断する。
小林委員長	振興計画については以上として、この後社会教育委員会議へ提出することになる。

(2) 令和2年度利用状況及び講座受講状況について

(3) 令和2年度事業中間報告について

小林委員長	(2) 「令和2年度利用状況及び講座受講状況について」について、事務局より説明を求める。
事務局	(2) と (3) 「令和2年度事業中間報告について」についても併せて説明する。 資料2-1と2-2が現状におけるコロナ禍での結果になり、2-1はR2.

小林委員長	<p>8月現在の利用者件数及び利用人数になる。コロナの影響で利用件数が大幅に減っているが、これは利用サークルの減だけでなく、2-2の講座受講状況においても前期講座を中止としたため、利用人数も減となった。これが3月に2月末現在としてどのような形になるか、その時にまたご説明し、ご意見ご質問をいただければと思う。</p> <p>それに伴い、資料3-1上半期事業の中間報告もほとんどが中止となっており、後期の事業が始まったばかりなので、こちらも最終的に3月に全体の実績報告を送らせていただくので、その時にご質問いただければと思う。</p> <p>詳細は3月に詳しく報告していただくこととする。</p>
-------	---

(4) 令和2年度公民館評価指標について

小林委員長	<p>(4) 「令和2年度公民館評価指標について」について事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>資料4について、公民館振興計画及び評価体系図に基づき、評価シートの中項目、小項目も変更されるべきとのご意見があったが、今年度は、まだ第一次振興計画及び評価マニュアルでの評価であり、第二次が今年度末に策定され、来年度からの施行になるので、それ以降活動計画の中項目と小項目の変更が行われ、それに伴い指標が出てくる形になるため、現状において変更はしない。</p> <p>ただし、評価指標の中で昨年度の部分を評価していただいたが、統廃合があれば今年度の評価するとき、ご審議いただければと思う。</p>
石田委員	<p>前期講座がほとんど中止になったが、令和2年度事業についての評価は行うのか。</p>
谷萩委員	<p>評価の基準は変わるのか。実施していないものに対してABCの評価はできないと思う。別なものを設けるとか、中止は評価しようがない。</p>
事務局	<p>ほとんど講座ができていない状況なので、学習拠点としての公民館の部分は、すべて成果が上がらなかったことになるかと思う。</p> <p>ただし、講座が全て中止になったわけではなく、すべての項目が全館において削除すべきものなのか、入れ替えるものなのかは、今後の後期講座をある程度やってみないとはっきりと断言することはできない。</p> <p>もし追加すべきものがあるとすれば、このコロナ感染症対策を指標に入れるべきかと思う。</p>
石田委員	<p>今年度の評価について、講座がほとんど中止になり、受講者もキャンセルが多い中、内部評価を提出していただくだけで十分ではないか。評価しようがないのではないか。</p>
事務局	<p>今の段階でやらなくていいとは言える状況ではない。年度末にかけて、評価に値するかしないかは、その時になってみないとわからないところがある。内部評価したものに対して、4月以降皆様に評価していただくわけだが、その段階で評価に値しないとの判定になれば、その時に対応すべきかと思う。しかるべき実績と成果を報告しなければならぬ。最終的に4月以降に判断をいただきたい。</p>
石田委員	<p>コロナにおいても、この先どの様な状況になるかわからないので、今後の様子を見て実績報告をいただいてから判断する。</p>

小林委員長	評価については、後期講座をやってみて評価できるようなら評価することとする。
-------	---------------------------------------

(5) 石橋複合施設について

小林委員長 事務局	(5) 「石橋複合施設について」について事務局より説明を求める。 資料5について説明する。9月議会に議決を得て、石橋複合施設整備事業が正式に決定し、令和3年度から建築が始まり、令和4年12月オープンセレモニーの予定となる。契約金額、契約の相手方や公共施設に民間施設が加わり、全体で運営することになる。 幅広い世代が利用し、交流できる場を作っていくのが役割であり、この箱をいかに活用していくか、まさに利用者の皆様とともにこれからやっていくことになる。利用者とは話し合いながら有効に活用できるよう、ソフト面の取り組みも進めていきたい。
小林委員長 事務局	駐車台数は何台になるか。 公共施設分120台、民間施設分31台で、明確に分けてはいないが、管理は各々になる。
小林委員長	質問等ないか皆様に伺う。

(6) その他

小林委員長 事務局	(6) その他について事務局にお願いする。 今年度の公民館まつりの実施について、各館とも意向調査を実施した結果、サークルの大多数が今年度は不参加となり、今年度はやむを得ず中止とさせていただき、本日付で自主サークルに通知を送る。
小林委員長	人権教育講演会と市民人権講座のお知らせ、定員を少なめに設定し密を回避しながら開催予定。 ほかになければ、議事は以上で終了する。

5 その他

6 閉 会